

PSFS（Patient-Specific Functional Scale）記録シート

氏名		初回評価日	
再評価日		評価者	

① 患者さんにとって重要な活動を決める

現在の問題によって「できない・難しくなっている」重要な活動を挙げてもらいます。患者さんの言葉を尊重し、再評価で同じ活動を確認できるように記録します。

活動	初回	再評価①	再評価②	再評価③
1.				
2.				
3.				
4.				
5.				
平均スコア				

② 0～10 の聞き方

0	その活動をまったく行えない
1～9	0 と 10 を基準に、現在の遂行レベルに最も当てはまる数字を患者さん自身に選んでもらう
10	問題が生じる前と同じレベルでその活動を行える

③ 比較条件メモ（必要時）

杖・装具・介助・距離・時間・環境など、点数の変化を解釈するために残しておきたい条件を記録します。
※この欄は PSFS の公式採点項目ではなく、再評価を比較しやすくするための補助記録です。

再評価のポイント

- ・変化量を見るときは、原則として初回と同じ活動を再評価します。
- ・活動や条件が変わった場合は、点数だけでなく変更内容も記録します。
- ・PSFS は痛みの強さではなく「活動の遂行レベル」を評価します。

注意：PSFS 2.0 は従来 PSFS と 0～10 の方向が逆です。使用する版を確認し、採点方向を混同しないでください。